

プログラム期間 2019年4月から2019年8月

応募
受付中!

第2回ブロックチェーン学生起業家支援プログラム 参加者募集 (2019-02-01改訂)

ブロックチェーン技術を用いた起業を支援するプログラムです。2019年4月から2019年8月の約4ヶ月半の期間中、参加学生は自身でブロックチェーンに関連する事業計画の立案と、アプリケーションの実装を行ってまいります。

事業事例:

- ・ブロックチェーンを活用した新たな金融機能(決済/送金/ファイナンス/信用判断/認証等)
- ・権利証明サービスへの適用のためのブロックチェーン技術の開発と、多様な家族関係証明サービス(eg. 婚姻証明書)への実践活用
- ・ブロックチェーン技術のスポーツビジネスへの実践活用
- ・その他自分自身で取り組みたい事業テーマ

実際の事業化につなげます

本プログラムは、ビジネスモデルの考案にとどまることなく、実際に起業することを見据えたプログラムです。

最高の講師陣

上場ベンチャー企業、ベンチャーキャピタル、大手企業、Tech系企業など、様々な立場の優秀な講師陣から事業立案、アプリ開発など起業に関するアドバイスを受けることができます。

最高の専用スペース

参加者には、本郷キャンパス内にある専用スペースの使用権が与えられます。グループワークなどで使用できるスペースのほか、完全個室で知的活動に集中できるスペースが提供されます。

※ 必ずしもこのスペースに来る必要はなくなり、モートのみでのプログラム参加も可能です。



専用スペースでは大型4Kモニターを完備。昇降機や高級チェアなど快適な作業空間を提供します。

謝金45万円/人

期間中、参加者には一人あたり最大45万円の謝金の支払いがされます。月収にして約10万円です。

別途個人予算10万円

期間中、各参加者には10万円の予算が与えられます。自身の事業計画立案、アプリケーション開発のために自由に使用することができます。

対象

プログラム期間中、学生(大学生、大学院生、専門学生、高校生、高専生、...)であること
10名程度

東京大学大学院工学系研究科 技術経営戦略学専攻
ブロックチェーンイノベーション寄付講座
<https://www.blockchain.t.u-tokyo.ac.jp/pg2019s@blockchain.t.u-tokyo.ac.jp>



応募方法

課題S, 課題T, 課題Pの少なくとも1つを提出してください。課題の成績により選考の次のステップに進むことができます。

早期応募締め切り: 2019年2月17日(日) 24:00

応募締め切り: 2018年3月3日(日) 24:00

可否結果は、3月中旬頃までにご連絡します。

※ 早期応募締め切りまでに提出されると選考に有利です。

課題S

昨今、数多くのブロックチェーンプラットフォーム/ミドルウェア/プロトコルのプロジェクトが提案・リリースされています。

1. このような中で比較的新しいプロジェクトを一つ選び、選択したプロジェクトの概要と利点を述べなさい。次に挙げる例の中から選んでもいいし、それ以外を選んでも良い。(例: substrate <https://www.parity.io/substrate/>, 0x <https://0x.org/>, Tendermint <https://tendermint.com/>, proskenion <https://github.com/proskenion/proskenion>)

2. その利点を活かして、選択したプロジェクトを用いたアプリケーションを一つ開発し、そのドキュメントとソースコードを提出してください。

- 作成したアプリは何を行うためのものか、ユーザーから見たときにこのアプリを使いたくなるような説明を記述してください。
- 動作方法、即ちどのような環境・手順でビルド、実行できるのかの説明書きを詳細に記述してください。動作環境(Mac, Ubuntuなど)の情報、動作環境の構築のための手順も必要です。環境構築用のスクリプト(シェルスクリプトやAnsibleなど)があるとベターです。採点者がビルド、実行できない場合は採点されない場合があります。
- 今回実装できなかったところについては、今後の追加開発を行う際の展望を記述してください。
- 「比較的新しい」とは曖昧な言葉ですが、これは古典的なブロックチェーン技術より最新のブロックチェーン技術に触れてほしく、そういうプラットフォームを選択してほしいという意図をしています。

注意1) 2) i)に記載する内容について必ずしもすべて提出ソースコードに実装されている必要はありません。i)では自分が考えた理想的なアプリを提案し、アプリの実装においては、限られた時間の中で自分が必要だと考える機能の優先順位を考え、優先度の高い順番に実装を行ってください。

注意2) ドキュメントの形式は問いませんが電子形式での提出をお願いします。日本語または英語での記述のみ受け付けています。

課題T

MetamaskというEthereum用のウォレットがあります。以下が公開されているソースコードです。

<https://github.com/MetaMask/metamask-extension>

1. Metamaskはどのようなシステムアーキテクチャで動作しているのか、Metamaskが動作している環境とEthereumブロックチェーンの関係性について触れながら説明してください。

2. 秘密鍵の保管場所や保管方法について、それに関する部分のソースコードのファイル名と行数を特定しながら、どのような実装になっているかセキュリティの観点を踏まえて説明してください。

3. 「2.」で特定した実装に対して、よりセキュアになるように鍵を管理する方法を提案し、ソースコードを改変して実装してください。改変後のものはウォレットとして、セキュリティとユーザビリティのバランスの観点からもとのMetamaskに比べてどのような用途に向いているのかを述べてください。

注意) 提出物は「1.」「2.」に関してはドキュメントを、「3.」に関してはドキュメントとソースコードを提出してください。ドキュメントの形式は問いませんが、電子形式での提出をお願いします。日本語または英語での記述のみ受け付けています。

課題P

あなたが、GitHubなどで公開されているプロジェクトの開発を行っている場合、そのURLを提出してください。ただし、当プログラムのために新しく作成したものではなく、前々から公開されているものに限りです。複数人で開発を行っている場合は、自分のプロジェクトの寄与度がわかるように説明も一緒に提出してください。特にドキュメント形式は問いませんが、日本語か英語で記述してください。

提出方法

課題S, Tの場合は、採点者がソースコードとドキュメント一式をダウンロードできるURLをメールでお送りください。その際、クラウドストレージサービス(Dropbox, Google Driveなど、どのサービスでも構いません)や自前のサーバーをご利用ください。一方、メールに直接zipなどでまとめて添付することは避けてください。課題Pの場合、プロジェクトのURLとドキュメントを直接メールにてお送りください。

提出先: pg2019s@blockchain.t.u-tokyo.ac.jp

提出の際には、履歴書(大学名, 学部, 学科/大学院名, 研究科, 専攻など現在自分が所属している学校の情報と学年, 氏名, 顔写真を含む)も添付してください。